29　　聖人のすばらしさ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　文法　限定形

読解 評価の根拠をつかむ

新傾向 関連資料から本文を読み深める

　次の文章は『論語』の「子曰はく、歳寒くして然る後にの後れて（凋）むを知るなり」について触れたものである。

　「　　レ　。」①松　柏　㆓　　　　也。②　㆓ 衆　㆒ レ　　耳。㋐凡　　皆　レ　　レ　、レ　　而　　レ　。③松　柏　　レ　　、新　葉　　、　　旧　葉　黄　。今　南　　花　木、レ　　㋑易レ　　　皆　　也。　、④聖　　　　　　レ　。

* 語注

松柏＝松や柏（このてがしわ）。いずれも常緑樹。

凋＝葉がしおれて落ちる。

抽＝芽生える。

南中＝南方の地方。

聖人＝孔子。『論語』はその言行録。

苟＝なおざり（いいかげん）にする。

【原文】

　「松　柏　後　凋。」松　柏　未　嘗　不　 凋　也。但　於　衆　木　為　後　耳。凡　木　皆　以　冬　落　葉、至　春　而　後　発　葉。松　柏　独　以　春　抽、新　葉　既　長、而　後　旧　葉　黄　落。今　南　中　花　木、有　不　易　葉　者　皆　然　也。迺　知、聖　人　下　字　不　苟　如　此。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

多くの木は冬に〔　　　〕し、〔　　〕に葉を開かせるが、松や柏は異なっている。その点から考えてみると〔　　　〕の「松柏後凋」という言葉は行き届いたものである。

問二　波線部㋐・㋑の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈４点×２〉

　㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　［限定形］

⑴次の①・②と同じ読みを持つ漢字をそれぞれ二つずつ挙げよ。〈１点×２〉

①　　　②　而已

①〔　　　〕〔　　　〕　②〔　　　〕〔　　　〕

⑵次の文の１を現代語訳し、２を書き下し文にせよ。〈２点×２〉

　 １　　　、　　　　　　　　　　。 　　 （桃花源記）

２　㆑　　　　　　　　　　　　　　　　聖　㆒、所㆑ ㆑　　　　　　　　　　　　　　　　 也。 （慎思録）

１〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

２〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①の解釈として最も適当なものを選べ。〈６点〉

ア　松や柏は落葉することもある。

イ　松や柏は必ず落葉する。

ウ　松や柏は一度も落葉したことがない。

エ　松や柏はいつも落葉するとは限らない。

　〔　　　〕

問五　傍線部②について、

⑴書き下し文にせよ。〈５点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

⑵現代語訳せよ。〈６点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問六　傍線部③はどのようなことを言っているのか。四十字以内で具体的に説明せよ。〈９点〉

　　〔

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問七　傍線部④は聖人のどのような点をほめたたえているのか。最も適当なものを選べ。〈６点〉

ア　松や柏などの植物に、人間と通じる性質をしている点。

イ　松と柏の微妙な違いに注目して、両者を使い分けている点。

ウ　松や柏の性質をよく観察して、正確な表現をしている点。

エ　松や柏と同様に、南方の花や木の性質も熟知している点。

〔　　　〕

問八　本文中の「松柏後凋」という言葉は、【資料①】にある『論語』の一節の引用である。この一節について、明治時代の実業家の渋沢栄一は『論語講義』という書物で【資料②】のように解説している。これを読んで、「松柏後凋」の解釈の説明として最も適当なものを選べ。〈４点〉

【資料①】

歳　、　　㆓　松　柏　之　　　也。

【資料②】

なる松のみどりも春来ればいまひとしおの色まさりけり。春夏の温暖なるに連れて、草木みなとして栄に向かい、一様に枝葉繁茂すれども、秋冷の候より追々に黄み落ちて、の節に至れば、衆木ことごとくして、生気なきに似たり。独り松柏のみは緑の色を変えず。として風雪に堪うるを見、てその性の堅忍なる、衆木のなるに同じからざるを知るなりといい、以て人を松柏にえたのである。

　天下無事の時は人々みな一様に見えるけれども、一旦利害に臨み事変にえば、小人はみな萎縮して利に就き身を保てども、独り道を学びたる君子は、節義を守りて、生死禍福のために心を動かさず、あたかも松柏の歳寒におけるがごとしとえたるなり。

ア　本文では、松や柏と南方の花や木との共通点について説明している。一方渋沢は、他の草木と比べると、松と柏だけは冬に落ちてしまう葉の量が少ないことに着目し、人間も平時に準備を怠らず、状況が悪くなったらそれを最小限にとどめることが重要であるという意味に解釈できるとしている。

イ　本文では、松や柏が落葉する時期の特徴について説明している。同様に渋沢は、松と柏だけは多くの草木が枯れ始める秋が来る前に、新しい枝葉に変わっていることに着目し、人間も自分の才覚と時勢とを見極めて、状態が悪くなる前に後進に道を譲ることが肝要であるという意味に解釈できるとしている。

ウ　本文では、松や柏が落葉する時の葉の色について説明している。同様に渋沢は、秋になり多くの草木が色せていく中、松と柏だけは色を変えないでいることに着目し、道を学び正道から外れることなく、よい状態を長く維持することのできる人間が優れているという意味に解釈できるとしている。

エ　本文では、松や柏が常緑のように見える仕組みを説明している。一方渋沢は、厳しい冬を迎え他の草木が葉を落とす中、松と柏だけは青々と茂っていることに着目し、人間も危機や逆境に直面して初めて、周囲の変化に左右されない本当の強さがわかるという意味に解釈できるとしている。

〔　　　〕

【解答】

問一　落葉／春／聖人

問二　㋐＝およそ　㋑＝かえ〈４点×２〉

問三　⑴　①＝惟・徒・但・真・只・直・特　など

　　　　　②＝已・耳・爾　など〈１点×２〉

⑵　１＝初めはとても狭く、やっと人が通れるだけだった。

　　　　　２＝聖人に非ざるよりは、免れ難き所なり。〈２点×２〉

問四　イ〈６点〉

問五　⑴　但だ衆木に於いて後と為るのみ。〈５点〉

⑵　ただ、他の多くの木（松柏以外の木）に対して後になる（遅れる）だけだ。〈６点〉

問六　松や柏だけは、春に芽生えた葉が成長した後で、古い葉が落ちる性質を持つということ。（40字）〈９点〉

問七　ウ〈７点〉

問八　エ〈４点〉

【現代語訳】

　（『論語』に）「松柏は後れて落葉する」という言葉がある。（常緑樹の）松や柏は今まで一度も落葉しないことはなかった。（必ず落葉するのである。）ただ他の多くの木に対して後になる〔＝松柏は衆木より後れる〕だけである。総じて木というものはみな冬になると葉を落とし、春になると新しい葉を出すものである。（しかし）松や柏だけは春になると芽生え、新しい葉が成長してしまってから、その後で古い葉が黄色くなって落ちる。ところで南方の花木について言えば、葉をかえない性質のあるもの〔＝常緑樹〕はみなそうである。それでわかるのである、聖人〔＝孔子〕の書かれた言葉遣いがなおざり（いいかげん）でないことは、このとおりであるということが。

【書き下し文】

「むにる。」と。だてまずんばあらざるなり。だにいてとるのみ。そはをてをとし、にりてにをく。りをてで、にじて、るにす。の、をへざることるはるなり。ちる、のをすことくもせざることくのごときを。

【資料】現代語訳

いつまでも変わらない松の緑も春が来ればいっそう色が増してくる。春夏の温暖な季節になるにつれて、草木は皆喜んでいるように生い茂っていき、すべて枝葉は繁茂するけれども、秋風が冷たくなる頃から次第に黄色く色づいて落葉し、真冬で厳冬の時になると、多くの木はことごとく落葉して、生気がないようになる。（しかし）ただ松や柏だけは緑の色を変えない。青いままで風雪に堪えているのを見て、その性質の辛抱強い様が、多くの木が脆弱であるのとは違うことを理解したことを述べ、そこで人を松や柏に喩えたのである。

　世の中が何もないような平時には人々は皆同じように振る舞っているが、ひとたび利害が絡む事態に対面し何かの事変に遭えば、つまらない人は皆萎縮して利益となるほうについて保身をはかるが、ただひたすら道を学んでいる君子は、節義を守り、生死や禍福によって信念を曲げず、まるで松や柏が寒さの中で堪えて生きているようであると喩えているのである。

【補充問題】（＊行数は本書に対応）

問１　「松柏未嘗不凋也。」（１行目）を書き下し文にせよ。

問２　「皆然也」（５行目）とあるが、「然」の指示する内容を文中から十五字以内で抜き出し、最初と最後の三字（送り仮名・返り点・記号は含まない）を答えよ。

問３　「聖人」（５行目）は、『論語』にその言行が記されている人物である。誰のことか答えよ。

問４　「如此」（６行目）について、

(1)　読みをひらがなで答えよ。

(2)　これが指示する内容を本文中から漢字五字以内で抜き出せ。

【補充問題解答】

問１　松柏未だ嘗て凋まずんばあらざるなり。

問２　以春抽～葉黄落

問３　孔子

問４　(1)かくのごとし

(2)松柏後凋